

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当なものを使用すること。

現金	当座預金	売掛金	売買目的有価証券
繰越商品	前払金	建物	備品
備品減価償却累計額	構築物	建設仮勘定	のれん
買掛金	借入金	未払金	未払配当金
社債	資本金	その他資本剰余金	繰越利益剰余金
自己株式	売上	受取配当金	仕入割引
有価証券利息	固定資産売却益	社債利息	売上割引
社債発行費	固定資産売却損	割賦販売契約	割賦仮売上

- (1) 売買目的で額面 ¥1,000,000 の社債を @¥97 で買い入れ、この代金は買入手数料 ¥10,000 および端数利息 ¥5,000 とともに小切手を振り出して支払った。
- (2) 伊万里商店に売価 ¥8,280,000 の商品を36回の均等分割払いの契約で販売し、同時に第1回目の割賦金を現金で受け取った。ただし、収益の計上は回収基準により、商品を販売したときに、売価の総額を割賦販売契約・割賦仮売上の対照勘定に計上することになっている。
- (3) 構築物が完成し、その引き渡しを受けた。建設代金 ¥4,000,000 のうち、前渡しした ¥1,500,000 を差し引いた残額を小切手を振り出して支払った。
- (4) 鹿島商事株式会社（決算年/回 3月末）は、額面総額 ¥50,000,000 の社債を年利率2%（利払い年2回 3月と9月の末日）、償還期限10年 払込金額は、額面 ¥100 につき ¥98 の条件で発行し、全額の払い込みを受け、払込金は当座預金とした。また、社債の発行費用 ¥300,000 を小切手を振り出して支払った。

		貸借対照表			
		平成26年3月31日			
(5) 伊万里商事株式会社は、右の財政状態にある有田商会を取得し、取得対価は小切手を振り出して支払った。ただし、同商会の平均利益額は ¥900,000 同種企業の平均利益率を8%として収益還元価値を求め、その金額を取得対価とした。なお、有田商会の資産と負債の時価は帳簿価額に等しいものとする。	有田商会	現金	3,000,000	買掛金	2,000,000
		売掛金	2,000,000	資本金	10,000,000
		商品	4,000,000		
		備品	3,000,000		
			<u>12,000,000</u>		<u>12,000,000</u>

- (6) 嬉野商事株式会社は、株主総会の決議にもとづき、資本金 ¥3,000,000 を減少して、繰越利益剰余金勘定の借方残高 ¥3,000,000 を填補した。
- (7) 佐賀商事株式会社は、取得原価 ¥2,400,000 残存価額 零（0）耐用年数6年の商品陳列用ケースを、定額法で償却し、間接法で記帳してきたが、これを取得後4年目の初頭に ¥500,000 で引き取らせ、新しい商品陳列用ケース ¥3,000,000 を購入した。なお、下取価額との差額は月末に支払うこととした。
- (8) 小城商事株式会社は、自社が発行している株式のうち150株を1株につき ¥80,000 で取得し、小切手を振り出して支払った。
- (9) 武雄商事株式会社は、売掛金 ¥500,000 の回収について、割引有効期限内であることから5%の割引を行い、残額を現金で受け取った。
- (10) 神埼商事株式会社から配当金領収証 ¥100,000 を受け取った。

2 次の各文の（ ）の中に最も適当な用語を下記の語群から選び、番号で答えなさい。

- (1) 企業会計の実務の中に慣習として発達したもののなかから、一般に公正妥当と認められたところを要約したものが（ ア ）である。この中の一般原則は7つの原則から構成されており、そのうち他の一般原則を総括する基本的な原則を（ イ ）の原則という。
- (2) いったん採用した会計処理の原則および手続きは、みだりにこれを変更してはならない。たとえば、減価償却の方法を、正当な理由なく、生産量または利用の程度に応じて償却費を計算する（ ウ ）から定率法に変更することは、（ エ ）の原則に反することになる。
- (3) （ オ ）権とは、この権利をもつ者が、この権利を発行した会社に対して（ オ ）権を行使することで、あらかじめ定められた価額で（ カ ）の交付を受けることができる権利をいう。
- (4) 引き渡した商品や提供したサービスの対価として、現金や受取手形・売掛金などの貨幣性資産を取得したときに売上収益を計上する考え方を（ キ ）という。これにより、不確実な収益を当期の（ ク ）から除くことができる。

語群

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|--------|
| 1. 生産高比例法 | 2. 新株予約 | 3. 企業会計原則 | 4. 継続性 |
| 5. 真実性 | 6. 実現主義 | 7. 損益計算 | 8. 株式 |

3 唐津商事株式会社の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりである。

よって、

- (1) 付記事項および決算整理事項の仕訳を示しなさい。
- (2) 報告式の損益計算書を完成させなさい。

ただし、i 会社計算規則によること。

ii 会計期間は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までとする。

元帳勘定残高

現金	¥ 830,000	当座預金	¥ 2,740,000	受取手形	¥ 880,000
売掛金	3,640,000	貸倒引当金	42,000	売買目的有価証券	4,500,000
繰越商品	5,900,000	仮払法人税等	2,180,000	仮払金	100,000
備品	4,000,000	備品減価償却累計額	1,000,000	のれん	1,800,000
其他有価証券	2,000,000	支払手形	900,000	買掛金	1,280,000
長期借入金	3,000,000	退職給付引当金	980,000	資本金	12,000,000
資本準備金	800,000	利益準備金	1,200,000	新築積立金	250,000
別途積立金	150,000	繰越利益剰余金	400,000	売上	77,606,000
有価証券利息	80,000	仕入	60,500,000	給料	6,000,000
広告料	1,800,000	支払家賃	840,000	保険料	500,000
水道光熱費	465,000	租税公課	595,000	雑費	121,000
支払利息	75,000	売上割引	82,000	固定資産売却損	140,000

【付記事項】

- ① 売掛金のうち ¥20,000 は得意先佐賀商店に対する当期発生のものであり、同店はすでに倒産しているため、貸し倒れとして処理する。
- ② 仮払金 ¥100,000 は、商品を仕入れたさいの引取運賃であることが判明した。

【決算整理事項】

- a. 期末商品棚卸高 帳簿棚卸数量 3,400個 原価 @¥2,000
実地棚卸数量 3,390個 正味売却価額 @¥1,900
ただし、棚卸減耗費および商品評価損は売上原価の内訳科目とする。
- b. 貸倒引当金見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ1%とする。
- c. 売買目的有価証券評価高 売買目的で保有する次の株式について、時価によって評価する。
鹿島産業株式会社 3,000株
帳簿価額 1株 ¥1,500 時価 1株 ¥1,300
- d. 備品減価償却高 定率法により、毎期の償却率を25%とする。
- e. のれん償却高 ¥100,000
- f. 其他有価証券評価高 其他有価証券について、時価 ¥2,300,000 によって評価する。
- g. 保険料前払高 保険料勘定のうち ¥360,000 は、平成25年6月から1年分の保険料として支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- h. 利息未払高 ¥15,000
- i. 退職給付引当金繰入額 ¥560,000
- j. 法人税・住民税及び事業税額 ¥3,200,000

1

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

受験番号	□□(1)～(5)

1

	借方	貸方
(6)		
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		

受験番号	□□(6)～(10)

2

ア		イ		ウ		エ		オ		カ		キ		ク	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

3

(1) 付記事項

	借 方	貸 方
①		
②		

決算整理事項

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		
h		
i		
j		

受験番号

2

3(1)

3

(2)

損 益 計 算 書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

唐津商事株式会社

I 売 上 高

()

II 売 上 原 価

1. 期 首 商 品 棚 卸 高

()

2. 当 期 商 品 仕 入 高

()

合 計

()

3. 期 末 商 品 棚 卸 高

()

4. ()

()

5. ()

()

()

()

()

III 販売費及び一般管理費

1. 給 料

()

2. 広 告 料

()

3. ()

()

4. 貸 倒 損 失

()

5. ()

()

6. ()

()

7. ()

()

8. ()

()

9. ()

()

10. ()

()

11. ()

()

12. ()

()

()

()

()

IV 営 業 外 収 益

1. ()

()

()

V 営 業 外 費 用

1. ()

()

2. ()

()

3. ()

()

()

()

()

VI 特 別 損 失

1. ()

()

()

()

()

法人税・住民税及び事業税

()

()

()

受験番号

3(2)

総得点

3 (2)

損益計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

唐津商事株式会社

I 売上高 (77,606,000)

II 売上原価

1. 期首商品棚卸高 (5,900,000)
 2. 当期商品仕入高 (60,600,000)※
 合計 (66,500,000)
 3. 期末商品棚卸高 (6,800,000)
 (59,700,000)
 4. (棚卸減耗費) (20,000)
 5. (商品評価損) (339,000) (60,059,000)
 (売上総利益) (17,547,000)

III 販売費及び一般管理費

1. 給料 (6,000,000)
 2. 広告料 (1,800,000)
 3. (貸倒引当金繰入) (3,000)
 4. 貸倒損失 (20,000)
 5. (減価償却費) (750,000)
 6. (のれん償却) (100,000)※
 7. (支払家賃) (840,000)
 8. (保険料) (440,000)※
 9. (水道光熱費) (465,000)
 10. (退職給付費用) (560,000)
 11. (租税公課) (595,000)
 12. (雑費) (121,000) (11,694,000)
 (営業利益) (5,853,000)

IV 営業外収益

1. (有価証券利息) (80,000)※ (80,000)

V 営業外費用

1. (支払利息) (90,000)※
 2. (売上割引) (82,000)
 3. (有価証券評価損) (600,000)※ (772,000)
 (経常利益) (5,161,000)

VI 特別損失

1. (固定資産売却損) (140,000) (140,000)
 (税引前当期純利益) (5,021,000)
 法人税・住民税及び事業税 (3,200,000)
 (当期純利益) (1,821,000)※

受験番号	3(2)	総得点
	4点×7=28点	100点

平成26年度

第58回簿記検定試験

1級(会計)

採点基準

(平成26年12月14日施行)

1

	借方	貸方
(1)	売買目的有価証券 980,000 有価証券利息 5,000	当座預金 985,000
(2)	割賦販売契約 8,280,000 現金 230,000 割賦仮売上 230,000	割賦仮売上 8,280,000 売上 230,000 割賦販売契約 230,000
(3)	構 築 物 4,000,000	建設仮勘定 1,500,000 当座預金 2,500,000
(4)	当座預金 49,000,000 社債発行費 300,000	社 債 49,000,000 当座預金 300,000
(5)	現金 3,000,000 売掛金 2,000,000 繰越商品 4,000,000 備 品 3,000,000 の れ ん 1,250,000	買掛金 2,000,000 当座預金 11,250,000

受験番号	1(1)~(5)
	4点×5=20点

1

	借 方	貸 方
(6)	資 本 金 3,000,000 その他資本剰余金 3,000,000	その他資本剰余金 3,000,000 繰越利益剰余金 3,000,000
(7)	備品減価償却累計額 1,200,000 固定資産売却損 700,000 備 品 3,000,000	備 品 2,400,000 未 払 金 2,500,000
(8)	自 己 株 式 12,000,000	当 座 預 金 12,000,000
(9)	売 上 割 引 25,000 現 金 475,000	売 掛 金 500,000
(10)	現 金 100,000	受 取 配 当 金 100,000

受験番号	□(6)~(10)
	4点×5=20点

2

ア	3	イ	5	ウ	1	エ	4	オ	2	カ	8	キ	6	ク	7
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3

(1) 付記事項

	借 方	貸 方
①	貸 倒 損 失 20,000	売 掛 金 20,000 ※
②	仕 入 100,000	仮 払 金 100,000

決算整理事項

	借 方	貸 方
a	仕 入 5,900,000	繰 越 商 品 5,900,000
	繰 越 商 品 6,800,000	仕 入 6,800,000
	棚 卸 減 耗 費 20,000	繰 越 商 品 20,000
	商 品 評 価 損 339,000	繰 越 商 品 339,000
	仕 入 20,000	棚 卸 減 耗 費 20,000 ※
	仕 入 339,000	商 品 評 価 損 339,000
b	貸倒引当金繰入 3,000	貸 倒 引 当 金 3,000
c	有価証券評価損 600,000	売買目的有価証券 600,000
d	減 価 償 却 費 750,000	備品減価償却累計額 750,000
e	の れ ん 償 却 100,000	の れ ん 100,000
f	そ の 他 有 価 証 券 300,000	その他有価証券評価差額金 300,000 ※
g	前 払 保 険 料 60,000	保 険 料 60,000
h	支 払 利 息 15,000	未 払 利 息 15,000
i	退 職 給 付 費 用 560,000	退 職 給 付 引 当 金 560,000 ※
j	法 人 税 等 3,200,000	仮 払 法 人 税 等 2,180,000 未 払 法 人 税 等 1,020,000

受験番号	②	③(1)
	2点×8=16点	4点×4=16点